

はあ…
仕事、クビに
なるなんて

これまで会社に
貢献してきたつもりだった

なのに、あんな一方的に
首を切られるなんて

いや、まあ

入社した当初から
ブラックとは思ってたけどさ

残業は当たり前、
営業に行っても経費が
落ちないことはいつものこと

理不尽なノルマ、突然の休日出勤、
上司の部下いびり、残業代未払い等々
ブラックな点を挙げればきりが無い

…ブラック企業から
解放されたと思えば
プライゼロか？

でも、急に仕事
辞めることになったから
お金の不安はある

今は物価高もそうだが
経済が安定してないから
何が起こるかわからないし、
蓄えはあるに越したことはない

仕事探すにしても
二十代も半ばを過ぎてるし

いい仕事があるか
どうか…と、通知？

って、花音？
珍しいな

——三枝花音

三枝家現当主であり
界限では女傑の名を
ほしいままにしている
俺の…友達だ

はい、
もしもし？

花音、
久しぶり——

風の噂で
聞いたけど

あんた会社を
首になったんだって？

え、な、なんで
知ってるんだよ！?

昨日首を切られた
ばかりなのに、
情報早過ぎない!?

それは…まあ、
いいでしょ別に

それよりも、ねえ、浩一
私が運営する学園で
ちよっと働いてみない？

働く？

…誘いは嬉しいけど、
俺教員免許とかないぞ

誰があんたに教師を
求めるのよ…

仕事は雑用がメインで、今
信頼できる男手が欲しいの

雑用かあ…

あんたなら
フィジカルも高いし

見た目に似合わず丁寧で、
気が利くから適任だと思
ったんだけど、どう？

わからない点は
多いけど

えり好みしている
余裕はないし…

なら、詳しい内容は
会って話したいわね

あー、予定って
いつ空いてる？

…わかった

花音の話し、有り難く
受けさせてもらうよ

いつでも
大丈夫だぞ

そう…なら明日、
この後送る住所まで来て
着いたら近くに
誰か居るだろうから
その人に要件を伝えて

了解

じゃ、
また明日
遅れないように
来なさいね

わかってるよ
今日はありがとう、
また明日な

翌日

や、やっと着いた
…えっと、ここで
良いんだよね？

一先ず近くに
居る人は…
あ！



あの、
すみませんっ!!

—はい?
—なんででしょうか?

うわあ、
凄い美人…

でもなんで、こんな人が
スーツを着て立ってるんだ?



えっと、私、本日の十時から
三枝花音と面談をお願いしてる
笹塚浩一と申します

三枝花音から、学園に到着次第
近くにいる人物へ声をかけるよう
言われていたのですが…

花音から？

…確認いたしますので
少々お待ちを



さっきの人、後ろに
警棒があったけど、

もしかして警備員…いや、でも、
あんな綺麗な女性が？

それにこの
学園の規模も

…だ、だめだ
な、なにもわからん

こんなことなら学園の雑務に
関してだけじゃなくて

ここについても
調べておくんだった

お待ちせ
いたしました

確認が取れましたので
お入りください

…では

わかりました



キーン

ああ、そうでした
こちらを

いいいや、
その！
案内とかは…

はい？
なんでしょうか

え、あ、あの！



え、あ、ありがとう
ございます？

…これって校内
パンフレット？

これを見れば
校長室まで行けるかと

いいやそうかも
しれません！

部外者の俺——私を自由に
歩かせるのはどうかと！



心配はごもっともですが、
それに関しては問題ありません

ここは全国の子女が
通う学園であるため
徹底的な監視体制を
取っています

更に私達のようなボディガードが
常に巡回もしているため
不審な行動を取っている者、
侵入しようとする者はすぐに
取り押さえることができますから

な、なるほど？



えっと、教えていただき
ありがとうございました



い

あ、あの？
どうしたん
ですか？

いいえ…
なんでもありません

それでは私は、
これで

はい！
お仕事
お疲れ様ですっ！



そう言えば、さっきの人
変なこと言ってたな

全国の子女とか
なんとか

まあ、いいか

—先ずは、パンフレットを
確認しない—と？

俺はパンフレットの
表紙を見て固まった

じょ、じょ、じょ

何故なら、そこには
こう書かれていた

『聖廉女学園へようこそ!』と――

女子校 おお
おおおおお!!?

どうぞ

失礼します

カキヤ

久しぶりね、
浩一

久しぶり
花音…

と言っても連絡は
取り合ってたから
言うほど久しぶりな気は
しないけどな

ニハ

そうね…

とりあえず
座って

あ、うん



それじゃあ、
仕事に関して説明を

あ、その前に

どうしたの？

今回は仕事を
紹介してくれて
ありがとう！

女子校なのは驚いたし、
やっていけるか不安もあるけど、
花音のお陰でひもじい思いを
せずに済んだよ



いいわよ別に

それに私だって利があるから
あんたを選んだんだから

でも、俺は就職するために
約束を守れなかったからさ…

あの後お見合いとかで
大変だったって後で聞いて



全く気にしすぎよ

…あの時はお互いに了承して
偽装の関係を解消したんだから

ふー

そうだけど

まあでも、
寂しくはあったわね

お陰でこれまで夫どころか
恋人さえ作れなかったから

え、そうなの？

でも、
お見合いとか

ああ、その話は
あったけど

全部断ったわ

あれ？

俺と偽装関係の時は
むしろ前向きだった
印象があったけど

ギロ...

後は親が勝手に婚約者とか
作ろうとしたから

ムカついて三枝家を
乗っ取ってあげたわね

いはいはいやー！

スケールでか！！

結果的に今やりたいことをして
過ごせるからいいんだけど

…って、
そうだった

ニヤ

あんたの方は彼女
作ってたらしいじゃない？

うっ

まあ、すぐに
別れたみたいだけど

はあー

なんで別れたの？

…なんで？
なんでだって？

グサッ
ぐさっ

あら、なんで
私のせいなのかしら？

そんなのお前の
せいだろうが！

ニハ

ニハ

調教したから？

お前が偽装関係中に
俺のことをっ



——そう、俺と花音は
肉体関係を結んでいた

って言うより、偽装に
真実味を持たせるためにと、
花音に押し切られる形で無理やりだ

当時は思春期真っ只中で、
尚且つそういう知識に
若干疎かった俺は

四六時中求めてくる花音を拒否できず
(それが当たり前だと思っていたため)
結果的に花音のせいで性的に鍛えられ、
一回二回では満足できない体にな
ってしまっていた

しかも筋トレを始めてからは
より絶倫具合に
拍車がかかってしまい

更には何故かチンコのサイズも
大きくなったことで
今現在性関係では苦勞している

あ、もしかして

体の相性が
合わなかったの？

近からずも
遠からずって
ところだよ…

『エッチがすこ過ぎて、
これ以上あなたといると
壊れてしまいそうだから』って

ふふふ

へー、そんな理由で
別れる女とかいるのね…

逆はよく聞くけど、
夜が強過ぎるのも
考えものね

こいつは
…はぁ

ならさ、今
溜まってるの？

はあ？
突然なにを

ん、

ニヤ

また、
私とする？

私、昔よりも
いい身体してるわよ？

っ！

っ！

あの体を
好きにできる

…って、ダメだダメ！
流されるな！！

つつ
つつ
そ、そんなことより
話を続けてくれ！

あら、残念ね…

まあ、あんたがここに
来た時点でもう
逃れられないんだけど

ぼろぼろ

さて、話を戻すと
しましょうか

浩一に任せることになる
用務員の仕事だけ——

花音の話によると
俺に任せたい仕事は
大きく分けて三つのようだ

一つは学園の管理

これは学園設備の点検や掃除、
消耗品の補充・交換など、
多岐にわたるようだが、
基本的にはマニュアル通りに
対処すれば問題ないらしい

二つ目は業者対応

学園を正常に運営するためには
多くの業者を必要とするらしく、
業者が介入しなくてはならない
場面の依頼や対応を任せたいとのこと

…これに関しては
営業で培ったスキルを
活かせそうだ

そして最後の三つ目が
学園に関わる生徒や教職員達の
メンタルケアを頼みたいとのこと

問題ないわ…

男のあんたにしか
出来ないケア方法だから

いやあの、
花音？

俺、別にカウンセラーじゃ
ないんだけど

その時がくれば
ちゃんと教えてあげる

それなら、
まあ…



あ、後、仕事柄学園内に
居てもらわないといけないから
浩一には学園内にある
宿直室に寝泊まりして
もらうことになるけど
問題ないわよね

まあ、それは
いいけど

なら、今日から
お願いね♪



え、今日
からって！
俺まだ今の家
契約解除とかしてな

それならこっちで
もう手続きしてあるから
心配しなくても大丈夫よ

もう外堀も
埋められてる！？



はあ…
わかった

今日から
お世話になります

ニム

ニム

ええ♪

こうして俺こと笹塚浩一の
聖廉女学園での波瀾万丈な
用務員生活が始まった――

…それで、
どうだった悠里？
浩一は信頼できそう
かしら？

…ええ
花鈴が言っていた通り、
道中おかしな行動もなく
あなたの誘惑に抗える
意思もあるようなので



そう…
これが試験だったって
浩一は気付いたかしら？

ふっ

いえ、恐らく
大丈夫かと

私が彼に説明した時も
そういうものかあ〜と
いった様子で一人
先に進んでいったので



ふふ、相変わらず
変なところで鈍いわねえ

いくら警備が万全だからって、
女子校の中を男一人で
歩かせるわけないのに

ニハ

でもそういう所が
私の浩一らしいわね

キョー

—



ん...?
なに?

いいえ...
花音がそこまで男性に
信頼を寄せているなんて...
と、少し驚いてしまって

悠里も浩一と
関わっていけば
その良さに気付くわよ
それに男らしさ
にもね…ふふ

男らしさとは、
やはりそういう…っ

私は巡回に
戻りますっ!!





いつまでそんな態度を
続けられるのか見物ね

ニヤ

悠里ったら、
相変わらずウブね
でも――



さて、一先ずは
仕事を終わらせて
その後は

私からの誘いを断った
浩一にお仕置きしないとね♥

その夜

はぁ、んっ、やっぱり
このおチンポ気持ち、いい♡

はっ♡

あっ♡

っあ、なんだ？

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んあ、あら、
起きたのねっ
んんっ、おチンポ
借りてるわよ？

んんっ
んんっ

なっ！
花音！？
なんっああ！

んんっ

んんっ

んんっ

んんっ

相変わらず一度寝ると、んっ、
中々目を覚まさないようねっ

様子を見に来たら、っああ、
極太おチンポが、ンンッ、
勃起してるんですもっおお！

そんなのお、おほっ、
入れないのは、あんっ、
勿体無いでしょ？

そんなこと、っあ、
きいてっああ、
この締め付け！？

あら、気づいた？

前よりもすごいでしょ？
あれから色々鍛えたのよ？

それってっ

ああ、
違うわよ？

んあ♡

びゅん

びゅん

びゅん

びゅん

びゅん

びゅん

男で鍛えたわけじゃなくて
文字通り体を鍛えたのよ

この体は昔と同じで
あんた専用よ？

んほおお、急に
おチンポ跳ねた！

はッ♡

やッ♡

嬉しいのね！
私みたいな美女が
専用オマンコ宣言して！！

そんな、
ことっあ！

19ッ

19ッ

19ッ

19ッ

19ッ

ドググッ

19ッ

んっ、乳首勃起させて
口からも涎、おほっ、
垂らしてる状態であ

そんなこと言われても
ンンッ、説得力ないわよ？

お♡

お♡

うおおほお、おぐっ、
刺激くるっ！

お♡

そういう
花音だっつあ

乳首勃起させて
いやらしく腰
振ってるだろっ！

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

お♡

パン

それはっお、ずっと、おほ、
待ちに待ってた、ンンッ、
おチンポだからああ！

ら、め、これオマンコ
喜びすぎてっ！

グ

パン
おまんこ

はッ♡

はッ♡

ああ、もう出るっ！

中に、膣内に
出さない！

そのままオマンコ射精して
子宮に子種を注いでえええ！

おまんこ

おまんこ

おまんこ

パン

パン



ドッ

うあああ!!

ガッ

んんあ

はぁ、っん、相変わらずの
んんっ、精子量ね…

オマンコに
収まりきれないわ

はぁ、はぁ

あんたのことだから
まだできるんでしょ？

いいわよ？

次はあんたが
したい体勢で—

んほおお!?

ま、まさか後ろからっあ、うほっ、
犯してくるなんてえ、んひいいい!!

ズミ

ぎゅ

はあ、はあ、
花音が誘うから!

ずっと我慢してたのに
こんなっ!!

だろっ!

あゝ♡

んああ、私のせいに、ン、
しないでもらいたいわね！

あゝ♡

私はただ、んひっ、あんたの
おチンポを、ンンッ、使っただけ

今こうして、あんっ、オマンコを
雄ビストンしながら、ンンッ、
犯しているのは、あひっ、
あんた自身の意思なんだからっ！

パン

パン

くっ！

パン

びるん

びるん

んん

んん

はっ

おほおお、またっあ、
動き早く!?

びるん

はっ

こうなったら満足するまで
付き合ってもらおうかなっ!

びるん

びん

びん

それはこっちの
セリ——

びん

はっ

はっ



あゝ
んひひひひひ！

ながあ、
押し広げっ！

びるん

あゝ

びん

びるん

あゝ

あゝ

それ、オマンコの
奥まできて壊れるううう！！

びん

びん





あーっ!!

くっ!!

んっ

ああっ!!

んっ

ああっ!!

んっ

んっ

んっ

はっ

はあ、はあ、流石に
久々の生おチンポは
は、っん、快感が、
んんっ、凄いわね

はっ

思わず、我を忘れて
乱れてしまっ——

イク

イク

ブルッ

ブルッ

イク

イク





お♡

んほおお!!

びるん

お♡

ん

ま、今余韻っ!

ん

びるん

ん

ん

ん

ん

はあっ、
もっといけー
うってしめえ!!



お♡

はっ

またくる！
いくっ！！

らめ、らめ！

パン

パン

パン

ブルン

ブルン

ズン

ズン



ぐわん

ぐわん

ぐわん



ぐわん

ぐわん

んっ あああああ!!

ぐわん

はっ

はあ、んほお、おチンポ、
二回出したのに、あんっ、
まだ中で大きいままあ

このおチンポ、ああ、
相変わらず、すごっお

あ

イク

はあはあ、
まだだ
まだっ、
終わらないぞっ！

イクイクイク

イクイク

イクイク



おほっ、おおお!!

ア、アアアアああ!!
ちょ、浩一っ、少し、あんっ、
落ち着き、ひあ、んおっ!!

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

あれから
数時間後

んあ

あ、あああ、またあ、
これ、くりゆう!!

んあ

くあああ、
で、る！
今度はっあ、はっはっ、
ぶっかけるからなっ

んあ

んあ

んあ

んあ

んあ

んあ

んあ





あんっ、おほっ、
お、おお、らしてえ！
浩一の精子、
ぶっかけてええええ！！

私、いぐ
いぐぐぐぐぐぐぐぐ！！

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



ああ

ああ

んあ、ああああ

んあ

んあ

んあ

んあ

んあ



てえ

はあ、っあ、ご、こんなに溜まってたのね...

あああ、でも流石にスッキリしたでしょ

うん

ふん

うん

うん

うん

うん

あ、ああもう出そうにない

うん

うん

うん

ふっ

あ

おほ、お、おほ、
余韻す、こあ、あ

これっあ、んっ、
あんたの匂い、んお、お、
しばらく、はあはあ、
取れそうにないわね♡

ふっ

うっめん

今回は自分でも
どうかってぐらい
抑えが利かなくて



ふっ
♡

いいわよ、はあはあ、
誘ったのは私の方だし

それより、っん、流石に
疲れたから少し
休みましょうか

んっ
♡

だ、な…



あ、そうだ

浩一

ん、なんだ
花音

これから
またよろしくね

いん

——ああ
また
よろしくな



どうぞー

失礼します

カキヤ

あら？
その用務員服
似合ってるわね

ニム

ありがとう
それで、俺を呼んだってことは
何か用があるんだよね？



ええ

浩一に対応して
もらいたい子がいるのよ

対応っていうと

前に少し話していた
メンタルケア的な
やつか？



まあ、そうね
はい、これ

何々…名前は
東雲咲耶…しのめ？

何処かで
聞いたことが
ある気が…

東雲ホールディングスとか
東雲電工って聞いたことない？

ああ、
あの有名な

…って、
まさか！



そう、その
一人娘

あんたには彼女に
いろいろ教えこんで
もらいたいわけよ

ニヤ

教えこむって
一体なにを…

男と女が一つの部屋で
二人っきりなのよ？

そんなのセックス
しかないでしょ

セックス？
…セックス？

は、はあああああ！？

『女が素直な自分でいられるのは
いい男との情事の中だけよ』って…はぁ

あからさまにはぐらかされてるけど、
それって要は裸の付き合いで
相手と向き合えてことだよな？

…不安はあるけど

ここに來たからには
俺にできることを
やるだけかぁ

そんなことを考えていると
ドアをノックする音が
聞こえてきた

…失礼します

十秒

初めまして、
東雲さん

キッ

…初めまして
用務員さん

入ってきたのは、男が好きしそうな
肉付きのいい体をした女の子

——東雲咲耶だ

——先ず
言っておきます

えっと、
なにかな？



ドゥンッ

私は男が
嫌いです！

男は自分勝手に下品で
女のことなんて何も考えない
そんな人種ですから！！



なにより、
女子校なのに

この学園に男が
いること自体問題です

じい!

なので、今日は
あなたのことを
追い出すために来ました

ねえ、用務さん、
学園を辞めて
いただけませんか?



離婚して離れた父親との関係が
あまり良くなかったとは
資料に書いてあったけど、

ここまで拗らせてるとは
思わなかったな…

それに面と向かって
あんなことを言うなんて

俺が悪い大人だったら、
キレて襲ってくるとか
考えなかったのか？

まあ、一先ずは



なっ！

!?ッ

——うん、
無理だね

ぐっ


っっっ

それは、
そうですが…
な、なら学園よりも
高い給金の仕事を斡旋

そもそも、
辞めるって
俺だけの問題
じゃないよね？

それは
嬉しいけど…

東雲さんに言われて辞めるって、
紹介してくれた花音の顔に泥を塗る
——裏切る行為でもあるから
受け入れられないかなあ



どうやら、自分が如何に
無茶苦茶なことを
言っているのかは
理解しているみたいだな

でも、ならなんで
こんなことを俺に
直接言いだしたんだ？

それだけなら、直接
花音に訴えればいいよね？

わざわざ俺に会ってまで
言う必要はないと思うけど

うっ
そ、それは…あなたのことを
不安に思う生徒が多くて…

それに裏で
コソコソするのは
卑怯だとも思ったから



この子は真っ直ぐな性格で
周りから寄せられる期待や願いに
応えようとするタイプなんだらう

一見すると優等生だけど
そういうタイプは必要以上に
抱え込む傾向にあるんだよな



ば、馬鹿に
しないでください！

！

キッ

私は東雲家の一人娘として
家の未来を背負って！

そうやって
動くのってさ

疲れない？



あ、勘違いしないで
別に馬鹿にしてる
わけじゃないんだ

キッドン

ただ、今の東雲さんを見ているとき
必要ないものまで背負おうと
肩肘張ってるように見えて
少し心配になるんだ



それにまだ
子供だよな？

子供に未来を背負わせないと
いけない家なんて、
俺からすると間違ってると思うよ

—

子供は純粹に今の青春を楽しむべきで、
大人は子供が幸せな未来を掴めるよう
選択肢を増やす手伝いをするのが役目

子供の未来を決める
権利なんて例え親にもないよ



っん、わ、わかり、あ、
ましたからっう、
頭撫でないであっ

ドキ

—
あ

ここでは…というより、
俺の前では素の東雲さんで
いいからね？
俺相手に遠慮なんて
必要ないから

きっと東雲さんは
これまでいろんな人の期待に
応えようと頑張ってきたんだね

でも！

ああごめん
ごめん

うん？

あ、あなたが本当に
ちゃんと仕事ができるかは
確かめなくては
いけません！



り、利用者も私が
初めてだと聞きました

そうだね

東雲さんが俺の
初体験者かな

はっっ!?

ドキ

ごほんっ！

で、ですから、あなたがちゃんと
相手を満足させるサービスを
提供できるのか私に見せてください！

ドン

それが確認できなければ、
生徒会長としてあなたを
認めることはできませんっ！





確かに、東雲さんの
言うことは一理ある

相手を満足させられる
対応ができるかで
俺の価値は変わってくる

俺を誘ってくれた花音のため、
そして俺自身の今後のためにも
俺は今、自分の価値を
東雲さんに示す必要がある

…東雲さんはこの部屋で
行う行為については
知ってるよね？

え、それは
…ええ、まあ

キョトン

なら



え、ひゃん！
ちょ、
なにしてい？

こうされることも
承知の上だよな？

それは、っん、
そうです、っああ

東雲さんの胸、
大きくて柔らかいね
制服からでも
わかるよ

んっ、いいから、
あんっ、離してっ

生徒会長なら、率先して
俺の行為が満足できるものなのか、
確かめる必要があるんじゃないかな？

こんなふうに！

!?

キノコ

ひゃ！
制服
ズラされてっ！

生肌は制服の
上からよりも
柔らかく感じるね

それに綺麗だよ

なにをっ、あっ、
言ってるんですかあ

反応がいいし
直接触られる方が
気持ちいいみたいだね

そんなの
知らなっああ

下着も脱がすよ

え、まっ
んああ!?

ちがっ、これはっん、
生理現象でっああ

乳首すごい
勃起してる

興奮して
くれてるんだね



はっ

ぐい

ブルッ

はっ

ふーん？
ただの生理
現象なんだ

そうですからっあ、
はあ、はあ、早く手をつ
ーんあああ!?

ツク

ぐい

ブルッ

ならさ、なんで
こんなふうに

乳首刺激すると
そんなに大きな声
出てるのかな？

はぁっん、そんなのっあ、
知りませんっ
いいからっ、ああん、
乳首から手、ニンッ、
どけてくださひっ

素直になってよ、
咲耶

俺の前では、
素直な君をみせて

っああ

ブル

ぎゅ

は

ア

ん

ム

ク

ん

す、なおにっ…
はあ、んっ、ああ
気持ちいいかはわかりませんが、んっ、
胸を揉まれて、あん、乳首を刺激されると、
ンンッ、電気が走ったみたいになってっ

いいよ
そのまま咲耶が
感じてることを
素直に伝えて

はあ、んっ、なんだか、
んああ、段々おまんこが、
あんっ、変な感じにっああ

咲耶のおまんこから
愛液垂れてきてる

そんなこと、んああ、
あるわけ、っん

こっちも一緒に
してあげるね

え、まっ

——んっああああ!!

触っただけで
軽くイっちゃったんだ

あっ、ああ、
いいった?

うん、
でも安心して
今度はちゃんと
イかせてあげるから

んああ、っん、
はあ、っん！
指がおまんこの中、
んっ、動いてっ！

咲耶のおまんこ
トロトロで

指動かす度に
愛液が溢れてくるよ

はあ、っん、
言わないでえ、んああ

指抜こうとしたら
オマンコが

出ないでって
締め付けてきてるのに？

自分で…はあ、っん、
わかりました…んあ！

なら、もっと
感じていいよ
自分が今どんなに
気持ち良くなってるのか、
自分の胸を揉んで確かめてみて

っああ、んっ、
ら、ってえ
こんなの今まで
感じたことなひからっ



ひあ、んっ、あああ、これ、
さっきよりも、っあ、
電流強くなってるっ！
用務員さんとは違った
感覚が広がってっあ！

どうだい
自分で自分の
胸を揉むのは

それにおっぱいとおまんこ
ソクソクしてきてっ！
な、なんだか段々
変な感覚が強くなって!?

イキそうなんだね、
いいよそのまま！

イク、っあ、ンンッ、おっぱいと
おまんこイジられながらイクイク！
らめええ、もう、
いっくうううう!!



っあ、はあ、っんああ、
これ、気持ち良すぎてっあああ

おっと

あぁっ♡



はあ、っああ

はっ

咲耶?

大丈夫?

ブル

はっ

ブル

うーん、
困った

俺のチンコはさっきから
はち切れそうなほど
勃起してるけど

流石に同意なしで
セックスするわけにもいかない

それに
今の反応

恐らく今日初めて
こんなことを
したんだろうし

これ以上、体に
負担は掛けられないか

東雲さん
今日は少し早いけど
この辺りで

ふーん

あなたのそこ、
大きくなって、んっ
お尻に
当たってる

んっ

ふーん

東雲さんのエッチな姿
見てたら興奮しちゃって
でも安心して、
これ以上なにかを
するつもりは



さっきは
やられっぱなし
だったし...

今度は私が
あなたにするから

それって抜かないと
収まらないんですよ

うお、
東雲さん!?

え

うず

うず

ぐ

カッ